

2025年11月5日
公益財団法人イオン環境財団

「アースデイ幕張2025」初開催

自然とともに生きる―幕張から始めよう―

公益財団法人イオン環境財団（理事長 岡田 元也 イオン株式会社 取締役兼代表執行役 会長 以下当財団）は、設立35年を契機に、11月15日・16日に「アースデイ幕張2025」自然とともに生きる―幕張から始めよう―を開催いたします。

「アースデイ(Earth Day)」は、1970年アメリカにおいて環境課題への意識を高める目的でスタートした国際的な活動で、現在では193か国以上で10億人以上が参加し多くの人が環境について学ぶ機会となっています。日本では「アースデイ東京」のほか全国各地で環境保全に関するワークショップ等が行われています。

当財団は、2023年より「アースデイ東京」に参画し出展しています。本年、当財団の拠点である千葉市幕張地区にて「自然との共生」を考える場所を作りたいという想いで初めて「アースデイ幕張2025」を開催いたします。千葉市の豊砂公園ならびにイオンモール幕張新都心グランドモール屋外ステージにおいて、環境課題に向き合うNPO団体・大学等研究機関・行政・企業など15団体20ブースにて活動展示やワークショップを実施します。また、ステージで活動紹介することで地域の皆さまと交流を図り、「自然とともに生きる」地球の未来について考えていきます。

当財団は、いのちあふれる美しい地球を次代に引き継ぐため、今後もさまざまな環境活動に取り組んでまいります。

【概要】

開催日時 2025年11月15日（土）～16日（日）10:00～16:00

開催場所 千葉市豊砂公園（千葉市美浜区豊砂1-12）

イオンモール幕張新都心グランドモール グラントスクエア屋外ステージ
（千葉市美浜区豊砂1-1）

主 催 公益財団法人イオン環境財団

協 力 一般社団法人アースデイ東京

後 援 千葉県・千葉市

出展内容 <豊砂公園 展示ブース>

11月15日（土）16日（日）

イオン株式会社・イオンアグリ創造株式会社・イオントップバリュ株式会社・
イオンフィナンシャルサービス株式会社・株式会社イオン銀行・公益財団法人
イオンワンパーセントクラブ

NPO団体・大学研究機関・行政・企業による活動紹介やワークショップ

<イオンモール幕張新都心 グラントスクエア屋外ステージ>

東京大学・早稲田大学 他

以上

ご参考

【公益財団法人イオン環境財団】

「お客さまを原点に平和を追求し、人間を尊重し、地域社会に貢献する。」というイオンの基本理念のもと、岡田卓也（名誉理事長 イオン株式会社 名誉会長相談役）により日本で初めて地球環境をテーマにした企業単独の財団法人として１９９０年に設立されました。以来、「植樹」「助成」「環境教育・共同研究」「顕彰」の４つの事業活動を中心に活動しています。現在は、持続可能な地域の実現を目的に、新たな里山づくりにも取り組んでいます。

【植樹事業】

万里の長城での植樹をはじめとする植樹活動は国内外の地域行政と協力し、自然災害や伐採などで荒廃した森の再生を目的に、アジアを中心に世界各地のボランティアの皆さまとともに活動を実施しています。当財団の植樹を含むイオン全体の植樹本数は１９９１年から累計約１，２７６万本（２０２５年２月末時点）となります。

【助成事業】

世界各地で環境活動に積極的に取り組む非営利団体に対して、毎年総額１億円の助成支援を行っています。２０２４年までの３４年間で累計の支援は３，５４６団体、助成金額は３１億９，３４７万円となりました。現在は、「里山の保全と利活用」をテーマに活動を推進している団体を支援しております。

【環境教育・共同研究事業】

国際的な専門機関と連携し、里山に関する共同研究を行うとともに、環境分野で活躍する人材を育成していくためのプログラムを実施しております。

大学連携では、京都大学、国連大学、千葉大学、東京大学、東北大学、早稲田大学と地域が求める里山づくりを推進しています。

また、日本ユネスコエコパークネットワーク、日本ジオパークネットワークとは、生態系の保全や地域連携による、人と自然が共生する持続可能な社会の実現を目指しています。

今回ご協力頂くアースデイ東京事務局は、２００１年より代々木公園で環境イベントを開催しており、当財団は２０２３年より連携しています。

（２０２４年「アースデイ東京２０２４」）



ワークショップ



助成先団体

【顕彰】

生物多様性条約事務局(The Secretariat of the Convention on Biological Diversity)と連携し、当財団の設立２０年にあたる２０１０年の「生物多様性条約第１０回締約国会議(COP10)」日本開催を契機に「The MIDORI Prize for Biodiversity 生物多様性みどり賞」を創設しました。顕著な環境活動が認められる個人を顕彰するもので、これまでに２０カ国２１名の個人を顕彰しています。